

2017年1月16日

ヤマハの技術とノウハウを凝縮した ICT 音楽教育ソリューション

## 学校の音楽教育現場に向けて 『Smart Education System』の提供を開始

－ 第1弾としてデジタル音楽教材『ボーカロイド教育版』『ギター授業』『<sup>こと</sup>箏授業』提供開始 －

ヤマハ株式会社は、主に小中学校をはじめとする学校の音楽教育現場に向けた ICT を活用した音楽教育ソリューション『Smart Education System』の提供を開始します。その第一弾製品として、Windows パソコン・タブレット端末用の授業モデルパック付きデジタル音楽教材『ボーカロイド教育版』の提供を2月7日(火)より、『ギター授業』『<sup>こと</sup>箏授業』の提供を3月上旬より開始します。



昨今、学校教育現場の ICT (Information and Communication Technology) 化が急速に進んでいます。政府は、昨年6月に閣議決定した「日本再興戦略 2016」で、「全ての教科の課題発見・解決等のプロセスにおいて、各教科の特性に応じ、IT を効果的に活用する」ことを謳っており、2020 年までに、子ども一人につき一台の端末を整備することや、ICT を活用して指導できる教員の割合を 100%にすることなどを目指すとしています。特に今後は、教育現場にて電子黒板やパソコン、タブレット端末といった教育向けハード機器やネットワーク環境が整備され、これに伴い「デジタル教材」などの教育向けソフトのニーズも高まることが予測されます。

当社はこうした環境の中、ヤマハだからこそ提供できる ICT 音楽教育ソリューション『Smart Education System』の構築に2014年より取り組んできました。これまで、15校もの協力のもとで実証授業を続け、学校関係者の方々との度重なる意見交換を通じて、教育の現場において有効に活用できる ICT ソリューションのノウハウ・知見を蓄積してきました。そしてこのたび、その成果の第一弾として、主に小中学校の教育現場を対象とした、授業モデルパック付きの3つのデジタル音楽教材『ボーカロイド教育版』『ギター授業』『<sup>こと</sup>箏授業』の提供を開始します。



【参考イメージ】

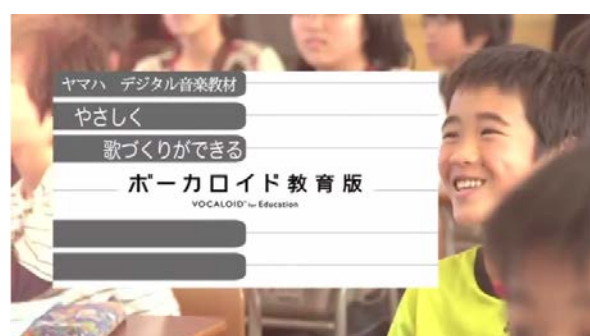
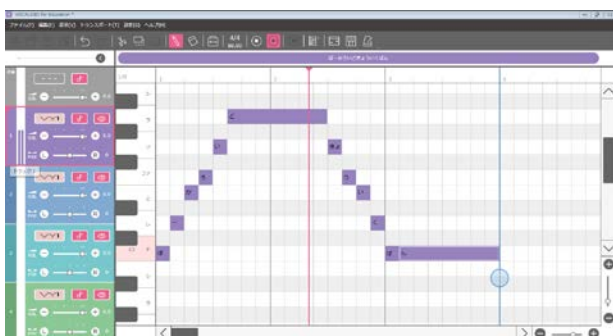
『ボーカロイド教育版』は、当社が開発した歌声合成技術「VOCALOID™」(ボーカロイド)を小中学校の音楽授業を想定し改良したもので、思い浮かんだ歌詞やメロディーをどんどん入力して、試行錯誤を重ねながら直感的な操作で曲をつくることのできる音楽ソフト形式のデジタル教材です。教材には、独自の「授業モデルパック」が付属しており、これに沿って授業を行うことで、子どもたちはメロディーづくりを体系的に学びながら、楽しんで創作に励むことができるようになっていきます。この教材を使ったこれまでの実証授業では「子どもたちの想いを歌という形にする中で対話的な学びができた」「今まで学んだ音楽的な要素をもとに歌をつくるのでより深い学びにつながった」など、子どもたち自らが考えて能動的に学んでいくスタイルに高い評価を受けていました。さらに「創造性」と「論理性」を同時に育むことができることから、2020年に小学校で必修化される予定の「プログラミング教育」の観点からも注目を集めていました。

『ギター授業』『箏授業』は、限りある音楽科の授業数の中で少しでも多くの楽器に触れ、様々な音楽に親しみを持ってもらうことを目的に開発した、動画をベースにしたデジタル教材です。専門家による充実の解説・模範演奏動画を多数収録しており、単に再生するだけでなくアングルを切り替えたり、再生テンポを変えたりしながら演奏ポイントを視覚的にしっかりと確認しながら学習できるようになっています。いずれの教材も、特に「器楽」の授業を想定した「授業モデルパック」が付属しており、楽器演奏が苦手な指導者でも無理なく効率的に教えられるようになっています。この教材を使った実証授業では、直感的に操作できるシンプルな機能性や、演奏に必要な要素を網羅した構成に対して高い評価を受けていました。また、『箏授業』については、現行の「学習指導要領」に「3 学年間を通じて1 種類以上の和楽器の表現活動の実施」が謳われているなかで、和楽器の中でも学校授業で一番使用されている「箏」に特化した初のデジタル教材として発売します。

## <『ボーカロイド教育版』 主な特長>

### 1. 子どもたちの「創造性」と「試行錯誤」を支援する音楽ソフト形式の独自教材

思い浮かんだ歌詞やメロディーをどんどん入力して、音楽創作に励むことができる Windows タブレット端末・パソコン用のデジタル教材です。歌詞はひらがなとカタカナで入力でき、音の高さや長さをひと目で理解できるやさしい画面表示となっており、楽譜が苦手な子どもでも直感的に音楽創作に取り組めるようになっています。また、リズムや音の高さの変化などを意識しながら、何度も試行錯誤して創作することで、創造力だけでなく論理的思考力をしっかりと養えるようになっています。



本教材のイメージ動画を [https://www.yamaha.com/ja/news\\_release/2017/17011601/](https://www.yamaha.com/ja/news_release/2017/17011601/)にて公開しています。

### 2. 「創作」の授業に役立つ「授業モデルパック」が付属

「教材を使ってどのように授業を進めていくか」がイメージし易いように、指導者向けの「授業モデルパック」が付属しています。現行の「学習指導要領」をふまえた「創作」の授業に適した内容となっており、子どもたちが楽しみながらも体系的にメロディーづくりが学べるようになっています。そのほか、板書資料、児童・生徒用のワークシート、授業用の伴奏音源なども含まれており、すぐに授業が始められるようになっています。（本リリース末に「授業モデルパック」の一部を掲載しています。）

### 3. ハーモニーの学習にも対応した「パート重ね機能」

男声と女声の双方を収録しており、最大4パートまで曲を重ねることができることから、混声4部合唱のアレンジを教材上で行うことも可能となっています。例えば、作ったメロディーに副旋律をつけて合唱曲に仕上げるといった授業にも活用できます。

### 4. 作った楽曲を作品として残せる「出力機能」

授業や学校行事の成果を作品として残すことができるように、完成した楽曲は音声ファイル（WAV形式）で出力することが可能となっています。また、「MusicXML」ファイルの出力にも対応しており、楽譜作成ソフトで読み込んで、楽譜として自分たちの作品を残すこともできるようになっています。

## <『ギター授業』『箏授業』 主な特長>

1. 充実の「解説・模範演奏動画」を収録。「アングル切替」「テンポ変更」で気になるポイントをしっかりと学習  
いずれも Windows タブレット端末・パソコン用のデジタル教材となっており、専門家による充実の「解説・模範演奏動画」を通じて、指使いや音色を効果的に学習できます。全身・手元を切り替えられる「アングル切替機能」や、「テンポ変更機能」「リピート機能」を搭載しており、気になる点やつまづきやすい点をしっかりと学習できます。さらに『箏授業』では、唱歌(しょうが)のオン・オフにも対応しています。



2. 「器楽」の授業に役立つ「授業モデルパック」が付属

はじめてギターや箏を使って授業を行う指導者でも安心して授業を進められる独自の「授業モデルパック」が付属します。現行の「学習指導要領」をふまえた「器楽」の授業に適した内容となっており、楽曲をベースにどのように授業を進めるかや、教える際の留意事項、教材の使いどころなどを細かく記載しています。さらに、児童・生徒用のワークシート、板書資料なども含まれており、すぐに授業を始められるようになっています。『ギター授業』では、リコーダーとのアンサンブルを想定したものや、『箏授業』では、箏の歴史や唱歌も合わせて学習し日本の伝統音楽に親しむものもあり、単なる楽器演奏のための教材としてではなく、総合的な学習体験を意識した授業モデルとなっています。（本リリース末に「授業モデルパック」の一部を掲載しています。）

3. 演奏に必要な「予備知識」もしっかりカバー

各楽器を演奏する前に必要な基礎知識も動画で学習できるようになっています。『ギター授業』では、ギター各部の名称、構え方、コードダイアグラムの見方など、授業の導入部で活用できるコンテンツも充実しています。『箏授業』では、箏の構造や各部の名称、爪のはめ方、縦譜の読み方、座り方・構え方などにくわえ、親指や中指を使った基本的な奏法をはじめ、その他のいろいろな奏法も詳しく紹介しています。

4. 一人ひとりのペースに合った学習を支援。スモールステップでの学習が可能

いずれの教材も、児童・生徒一人ひとりのペースに合わせて細かい単位で学習できる構成となっています。『ギター授業』には、おなじみの楽曲「カントリーロード」「情熱の花」「スカボローフェア」（3曲4種類）を収録し、楽曲ごとに演奏に必要な要素が20前後のスモールステップのエクササイズにまとめられています。『箏授業』には、「さくらさくら」（初級）、「さくらさくら」（上級）、「六段の調」（冒頭）の3つを収録しており、曲をフレーズごとに区切って練習できるようになっています。

## <各製品の価格・提供方法・発売日について>

品名	ライセンス方式	提供形態	提供経路	価格（税抜）	発売日
ボーカロイド 教育版	シングルライセンス ※1	DVD	教育用 PC ソフト取扱 販売店、楽器店など	20,000 円	2017 年 2 月 7 日
	校内無制限ライセンス			オープン価格	
ギター授業	シングルライセンス ※1	DVD 付書籍 ※2	一般書店、楽器店、イ ンターネット通販サ イトなど	7,500 円	2017 年 3 月上旬
	校内無制限ライセンス	ストリーミング	EduMall (エデュモール) ※3	15,000 円/年	
箏授業	シングルライセンス ※1	DVD 付書籍 ※2	一般書店、楽器店、イ ンターネット通販サ イトなど	7,500 円	
	校内無制限ライセンス	ストリーミング	EduMall (エデュモール) ※3	15,000 円/年	

※1: 一般の方でもお買い求めいただける形式で販売します。

※2: 株式会社ヤマハミュージックメディアが販売します。

※3: 株式会社内田洋行の教育コンテンツ配信サービス。各教材の購入には、別途「EduMall」(<http://www.edumall.jp/>)  
の利用契約が必要となります。

## <各製品の動作環境について>

	ボーカロイド教育版	ギター授業、箏授業
対象機器	Windows タブレット端末、Windows パソコン	
OS	Windows10/Windows8.1/Windows7(Service Pack1 以降) 各日本語 OS の 64 ビット版(x64)、32 ビット版(x86) に対応	
CPU	Intel Atom Z3735 1.33GHz 以上 または同等の互換プロセッサ	Intel Celeron 2957U 1.40GHz または同等の互換プロセッサ
RAM	2GB 以上	
その他	DVD ドライブ（インストール版のみ）、オーディオデバイス	

※ギター授業、箏授業を「EduMall」にてご利用の場合は、別途対応ブラウザをご確認ください。

※いずれも動作条件を満たしている場合でも、全てのコンピュータでの動作を保証するものではありません。

※いずれも発売時に動作条件が変更となる場合がございます。

# 『ボーカロイド教育版』授業モデルパック 一部抜粋

## ③ 実際の指導

### 第一次 (1時間)

- 学習目標：VOCALOID 教育版の画面と五線譜との関係を理解し、「きらきら星」の主旋律を入力することができる。  
主旋律と伴奏コード（和音）の構成音との関係を理解し、ハモリのパートをグループで創作する。
- めあて：「きらきら星」で音の重なりを楽しもう
- 教材：「きらきら星」
- 授業スタイル：一斉学習、協働学習（2～4人にタブレットが1台）
- 教室の配置：グループごとに固まった状態で机と椅子を配置する。  
各グループにはタブレット端末1台と「きらきら星」の楽譜が配布された状態。
- 使用する ICT 機器：大型モニター、PC、タブレット端末（グループに1台）、VOCALOID 教育版（ソフト）
- 主な ICT 活用とそのねらい
  - ✓ VOCALOID 教育版（ソフト）を使用することにより、楽譜が苦手な児童でも画面上で感覚的に音の長さや音の高さを入力し、すぐに再生させて確認できるため、試行錯誤をしながら簡単に創作活動に取り組むことができる。
  - ✓ VOCALOID 教育版を使用することにより、主旋律を再生及び透過表示させたり、伴奏コード（和音）の構成音のガイドを表示させながら作業できるため、伴奏とメロディーのハーモニーを確認しながら創作できる。

### ■ 展開

過程	主な学習活動と教師の働きかけ	留意点
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「きらきら星」を斉唱する。</li> <li>■ 本時の学習のめあてを確認する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;">                     「きらきら星」で音の重なりを楽しもう                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 授業で使用するソフト（VOCALOID 教育版）の紹介をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ リコーダーで演奏しても可。</li> <li>★ 教師用 PC と大型モニターをつないでパワーポイント画面を使って説明する。</li> </ul>
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ VOCALOID 教育版の画面説明及び操作説明をする。</li> <li>■ 「きらきら星」のメロディーを VOCALOID 教育版に入力する。 (グループワーク、5分程度) ※あらかじめ歌詞と伴奏データ、最初の音が入力された状態のデータを使用。</li> <li>■ 入力したメロディーの確認と各グループのデータの保存をする。</li> <li>■ 「きらきら星」のハモリパートをつくる。 (グループワーク、10分程度) ※ハモリパートのガイドとなる伴奏コード（和音）の構成音の表示方法などを説明。 ※早くできたグループは更に追加でハモリパートを考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 教師用 PC や教師用タブレット端末を大型モニターにつないで説明する。</li> <li>★ 保存データを作成後は、こまめに上書き保存させる。</li> </ul>

### いろんな歌づくりに応用しよう

★ 1小節に8文字以内のことばをうめてみよう

カウント

<b>1小節目</b>	<b>2小節目</b>	<b>3小節目</b>
きみとぼくとは	ともだちだ	
きょうはカレーが	たべたいです	
しずおかけんの	めいさんひんは	
おちゃとみかんが	ゆうめいです	

Copyright © 2019 Yamaha Corporation. All rights reserved.

### 音の長さ

Copyright © Yamaha Corporation. All rights reserved.

板書資料・ワークシート例

# 『ギター授業』授業モデルパック 一部抜粋

中学校 第2学年	題材名 教材名	ギターを楽しもう 「カントリーロード」(作詞・作曲：B. ダノフ、T. ニヴァート、J. デンヴァー)			時間	5時間
-------------	------------	--------------------------------------------------------	--	--	----	-----

**■題材の目標**  
ギターの音色や奏法に関心を持ち、G・D・Em・Cの4つのコードを用いた基本的な奏法を身につけ演奏する。また、リコーダーとアンサンブルすることにより、伴奏の役割や全体の響きとのかかわりを意識して、演奏を工夫する。

**■学習指導要領との関連**  
A表現(2) 器楽 イ. 楽器の特徴を理解し、基礎的な奏法を生かして演奏すること。  
ウ. 声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら合わせて演奏すること。  
【共通事項】音色、リズム、速度、テクスチャ

**■教材概観**  
「カントリーロード」(作詞・作曲：B. ダノフ、T. ニヴァート、J. デンヴァー) ※サビ部分のみ  
1971年に発売され全米2位の大ヒットとなった曲。現在でも多くのミュージシャンによってカバーされており、CMや映画などで耳にすることも多い名曲である。G、D、Em、Cという比較的押さえやすい4種類のコードのみで弾くことができるので、ギターが未経験の生徒でも取り組みやすい教材である。また、いろいろなストローク奏法による伴奏ができるので、主旋律をリコーダーで演奏してアンサンブルしたり、歌いながらギターを弾き語りをする中で、伴奏の役割について理解を深めることもできる。

**■デジタル教材を使用した指導計画(5時間)** ※すでに主旋律をリコーダーで学習していることを前提とする。

学習内容	めあて	指導上の留意事項
第一時 ■ギターについての基礎知識 ■4つのコードを学ぶ	ギターの仕組み・演奏の仕方について学ぼう	・デジタル教材を提示しながらギターの各部の名称を確認し、実際にギターを持って基本的な構え方、ピックの持ち方を実践させる。 ・大型モニター又は各自のタブレット端末でデジタル教材を見ながらコードの押さえ方を確認し、実際に譜例を弾かせる。 ・4つのグループに分け、大型モニターにデジタル教材を映し、それぞれのコードをリレー方式で弾かせる。
第二時 ■コードチェンジのコツを学ぶ	コードチェンジを覚えてギターを演奏できるようにしよう	・大型モニター又は各自のタブレット端末でデジタル教材を見ながらコードチェンジの方法を確認し、実際に譜例を弾かせる。 ・大型モニターにデジタル教材を映し、全員で「カントリーロード」を全音符で通して弾かせ曲のイメージをつかませる。
第三時 ■右手の奏法(ストローク)を学ぶ	右手の奏法(ストローク)を覚えて「カントリーロード」を最後まで演奏しよう	・ストロークのリズムを3つ提示(全音符、4分音符、シンコペーション)。4分音符とシンコペーションのストローク奏法をデジタル教材を見ながら実践させる。 ・大型モニターにデジタル教材を映し、各自が自分のレベルに合わせて選んだストロークで「カントリーロード」を通して弾かせる。
第四時 ■リコーダーとギターのアンサンブルで中間発表	グループでパートや速さを決めて「カントリーロード」のアンサンブル練習をしよう	・リコーダーで主旋律の演奏を復習させる。 ・グループ(4~5人)に分かれて担当するパートを決め、各自タブレット端末のデジタル教材を使って自分の苦手な部分を練習させる。 ・グループごとにアンサンブルの練習をさせ、互いの技術力向上や共に音楽を作り上げるためのコミュニケーション活動を支援する。 ・グループごとに中間発表させ、互いの進捗を確認させる。
第五時 ■リコーダーとギターのアンサンブルで最終発表	今までの練習の成果を生かし、グループで速さがそろったアンサンブルをしよう	・グループごとにアンサンブルの練習をさせる。ギターは前奏を考えさせる。 ・グループごとに発表形式で演奏させる。その際、互いの演奏について相互評価させ、自分たちの技能を客観的に捉えたり、アンサンブルする上でのポイントなどを考えさせるようにする。

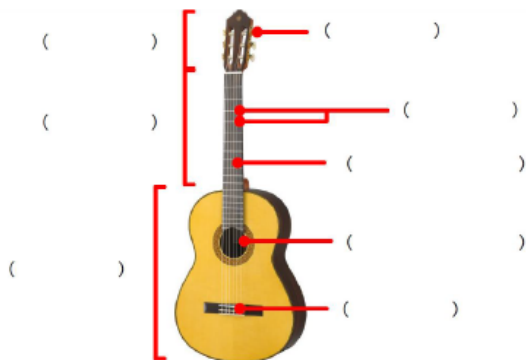
1  
Copyright © Yamaha Corporation. All rights reserved.

## ギターを楽しもう 1

組 氏名 \_\_\_\_\_

～学習のめあて～  
ギターの仕組み・演奏の仕方について学ぼう

### ■ギターの各部の名称について

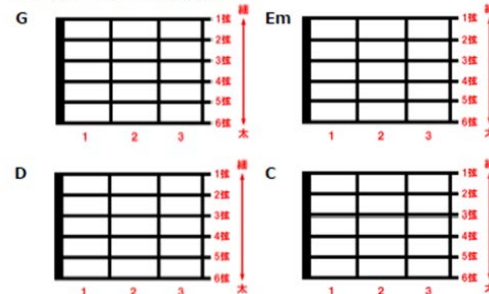


### ■ピックの持ち方について



1. ( ) を力半分に曲げ、その第1関節の側面に ( ) をかぶせる。その間にピックを挟み込む。
2. ピックの先端の形と ( ) が指腹になるように調整する。
3. ピックの ( ) が出すぎたり、引っ込みすぎたりしないように調整しましょう。

### ■ギターのコードダイアグラムを覚えよう



## 授業モデル・ワークシート例

# 『箏授業』 授業モデルパック 一部抜粋

小学校 第5学年	題材名	ことに親しもう		
	教材名	「さくらさくら」初級 (日本古謡、編曲：長谷川慎)	時間	4時間

## ■題材の目標

箏という楽器に関心をもち、箏の基本的奏法を身につけた上で、音色や旋律の美しさ・速度・間といった特徴を感じながら「さくらさくら」の曲想に合った表現を工夫して演奏する。また、唱歌を歌うことにより箏曲の伝統的な学習法を知り、音の高さやリズムだけでなく、箏の音色や奏法・フレーズ感・間といった特徴についてより深い理解を促し、楽しみながら日本の伝統音楽に親しむことがねらいである。

## ■学習指導要領との関連

A表現(1)歌唱 イ、歌詞の内容、曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって歌うこと。

(2)器楽 イ、曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって演奏すること。

ウ、楽器の特徴を生かして旋律楽器及び打楽器を演奏すること。

日鑑賞(1) ア、曲想とその変化などの特徴を感じ取って聴くこと。

ウ、楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさを理解すること。

【共通事項】音色、リズム、速度、旋律、音階や調、拍の流れやフレーズなどの音楽を特徴付けている要素

## ■教材観

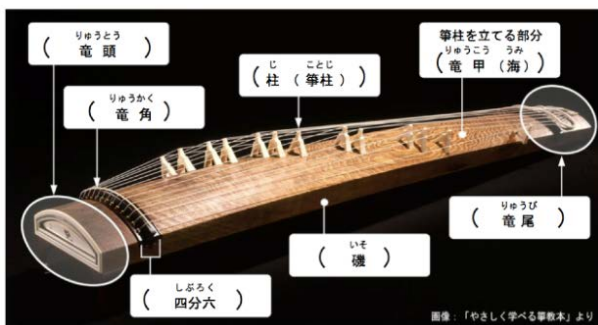
「さくらさくら」初級(日本古謡、編曲：長谷川慎)

この曲は日本で古くから親しまれてきた歌で、明治21年に出版された箏の練習曲集「箏曲集」に掲載され広く知られるようになった。小学校第4学年の歌唱共通教材としても取り扱われており、箏の代表的な調弦である平調子で日本らしい美しい旋律を味わうことのできる楽曲である。第七弦から弾き始め、隣り合う弦を右手の親指だけで順に弾いて無理なく演奏できるようになっており、箏を弾いたことのない児童でも取り組みやすい教材である。また、「さくらさくら」の唱歌には裏間を感じたり、「コロリン」といった奏法を表したものも含まれており、華らしい弾き方を感覚的につかませながら、児童が楽しんで箏に親しむことも期待できる。

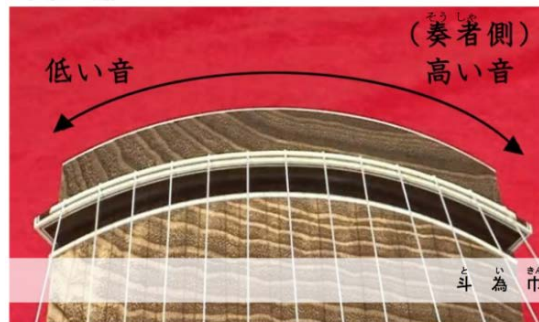
## ■デジタル教材を使用した指導計画(4時間)

	学習内容	めあて	指導上の留意事項
第一時	<ul style="list-style-type: none"> <li>■「さくらさくら」を歌唱する。</li> <li>■箏の演奏を鑑賞する。</li> <li>■箏の基本的な知識について学ぶ。</li> <li>■唱歌(しょうが)を歌う。</li> </ul>	ことの演奏をきいて、日本の伝統音楽の持ちようを学ぼう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル教材の箏の演奏に合わせて「さくらさくら」を歌唱する。</li> <li>・デジタル教材を使用し「荒城の月」を鑑賞させ、箏の音色や箏曲の特徴を感じ取らせるとともに、箏への興味関心を喚起する。</li> <li>・デジタル教材を提示しながら箏の各部の名称について学習する。</li> <li>・デジタル教材で「さくらさくら」の唱歌を鑑賞させた後、唱歌について学習する。また、実際に「さくらさくら」唱歌を歌わせる。</li> </ul>
第二時	<ul style="list-style-type: none"> <li>■箏を演奏するために必要な基礎を学ぶ。</li> <li>■「さくらさくら」の初めの4小節を演奏する。</li> </ul>	ことを演奏するための基そ知識を学ぼう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル教材を提示しながら楽譜の読み方について学習する。</li> <li>・デジタル教材で爪のはめ方を学習する。</li> <li>・箏を演奏するために必要な座り方・構え方をデジタル教材で学習する。</li> <li>・箏の基本的な奏法をデジタル教材で学習し、「さくらさくら」の初めの4小節を弾かせる。</li> </ul>
第三時	<ul style="list-style-type: none"> <li>■箏のいろいろな奏法について学ぶ。</li> <li>■「さくらさくら」の残りの部分を演奏する。</li> <li>■「さくらさくら」を一曲通して演奏する。</li> </ul>	ことの音色を意識して「さくらさくら」を通して弾いてみよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「さくらさくら」の残りの部分をデジタル教材で学習する。演奏を通じて「コロリン」について学習する。</li> <li>・大型モニターにデジタル教材を映し、「さくらさくら」を一曲通して弾かせることで、曲の全体感をつかませるとともに苦手箇所を意識させる。</li> <li>・各自のタブレット端末でデジタル教材を見ながら自分の苦手箇所を練習する。</li> </ul>

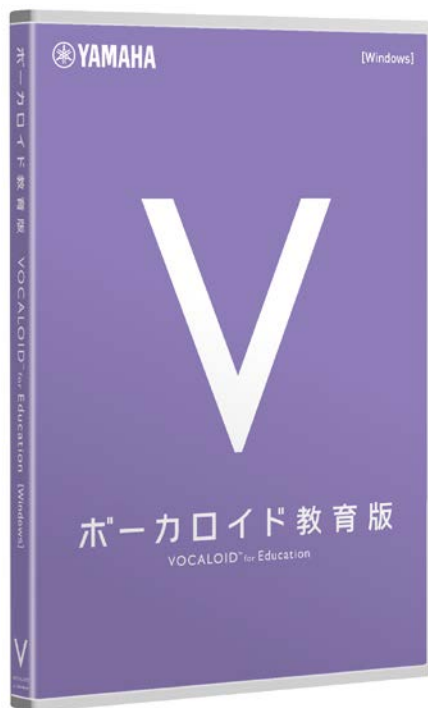
## ■ことの各部の名前



## ■糸(弦)の名前



## 授業モデル・ワークシート例



ヤマハ デジタル音楽教材  
『ボーカロイド 教育版』

シングルライセンス：20,000円（税抜）  
校内無制限ライセンス：オープン価格



ヤマハ デジタル音楽教材  
『ギター授業』 『箏授業』

シングルライセンス：各7,500円（税抜）  
校内無制限ライセンス：各15,000円（税抜）/年

## < 『Smart Education System』 今後の展開について >

『Smart Education System』では、今回のデジタル音楽教材の提供のみならず、今後は、楽器やネットワーク機器、クラウドサービスや人的サポートも含めた包括的なソリューションを提供することで、新しい時代の音楽教育をサポートしていく予定です。なお、『Smart Education System』公式サイト (<http://ses.yamaha.com/>) では、製品・イベント情報のほか、これまでの実証授業の様子や、各授業の授業モデルパックの追加提供、その他さまざまな情報を発信しています。

\*VOCALOID（ボーカロイド）およびボカロは、ヤマハ株式会社の登録商標です。

\*その他の文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

### この件に関するお問い合わせ先

■報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 広報部 広報グループ 担当：新川（あらかわ）  
TEL 03-5488-6601 FAX 03-5488-5060

■教育関係者・一般の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 新規事業開発部 SES 事業推進グループ 担当：井上（いのうえ）、玉井（たまい）  
TEL 03-5488-5074 FAX 03-5488-6485